

令和元年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立春日北小学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

平成31年4月18日(木)

■ 調査の対象学年

小学校6年生児童

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査(国語、算数・数学、英語)

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査 (例)国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況など	指導方法に関する取り組みや人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取り組み、指導方法の工夫、学校運営に関する取り組み、家庭・地域との連携の状況など

■ 調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学、英語に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部分」であり「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上、ご欄ください。

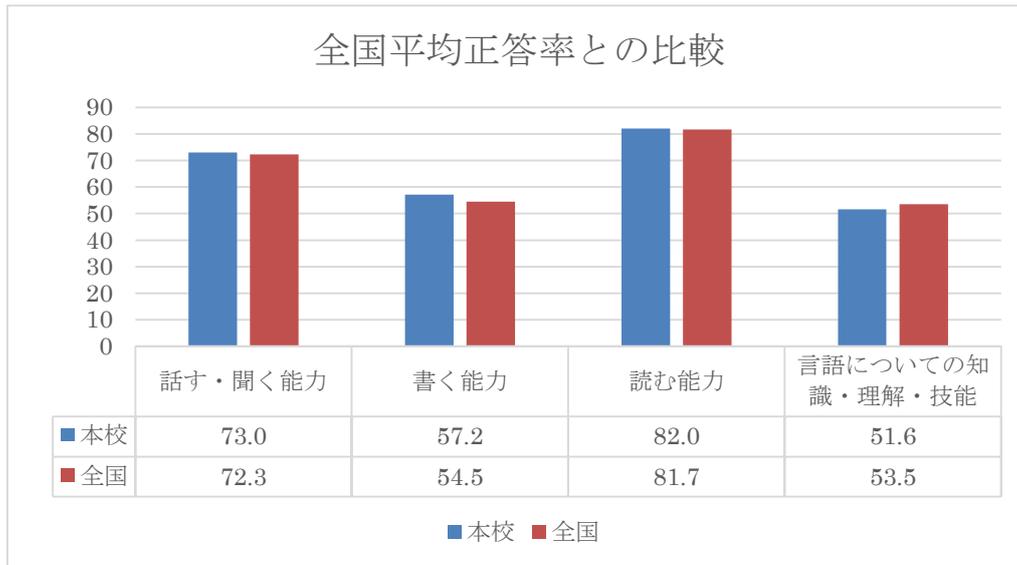
全国学力学習状況調査の結果をもとに、本校児童の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。

まとめたことから、学校ではどのように取り組んでいくのかを考え、これから全校で、実行していきます。

ご家庭でも、一人一人の学力を伸ばすために、【ご家庭では】の部分をご参考にお話をしていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

■ 調査結果及び考察

1 国語



(1) 結果

4領域のうち3領域で全国平均正答率を上回りました。分布の割合を見ると、個人差が大きく、二極化が見られました。また、無解答率ではすべての問題で全国平均と比べて低く、時間いっぱい問題に取り組んで解こうとした結果といえます。

(2) 成果と課題

唯一、全国平均を下回った「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に課題が見られました。漢字の書き取りに関して、同音異義語の理解が極端に低く、年間を通して確実に語彙を定着させるとともに、文や文章への理解を深める場を設ける必要があります。

「読む」ことに関しては、目的に応じて、本や文章全体を概観して読むことができています。しかし、「書くこと」に関して、目的や意図に応じて自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことができていません。これは、「複数の条件に合わせて十分な説明ができない」「説明に必要なキーワードを使っていない」など、先の語彙力や文の構成力に課題があるといえます。今後もモデルとなる説明の方法や内容を提示しながら、少人数での学び合い活動を積極的に取り入れ、「分かりやすく説明できる」力を育む必要があります。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

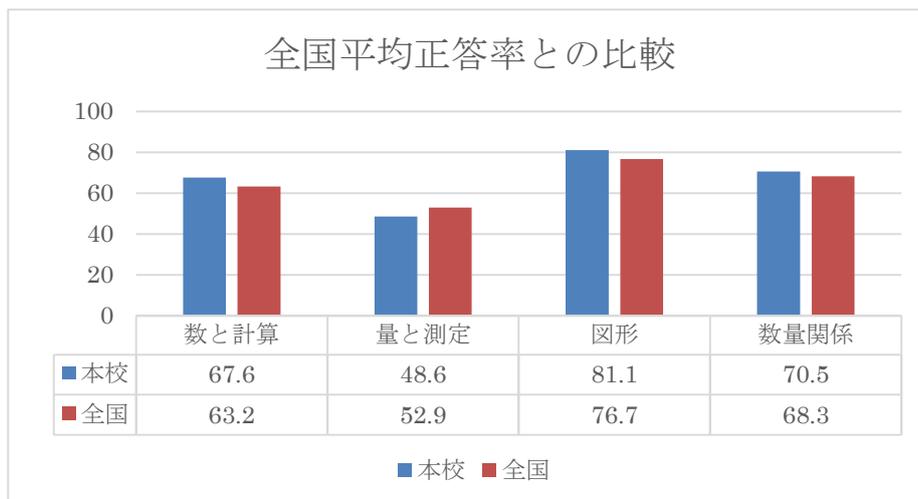
- 同音異義語に注意して、漢字を文中で正しく使う指導を工夫します。
- 相手の話を聞く際は、自分の意見と比べて共通点や相違点を考えながら、最後まで聞くようにしていきます。
- 学び合い活動において、理由や根拠を明確にして分かりやすく説明する力をつけていきます。

【ご家庭では】

- まずは音読が基本です。音読をしっかりと聞いてあげてください。毎日繰り返し声に出して読むことで、文節の区切りや、言葉の意味など確実に定着していきます。文章を読み、要点や意図を捉えることは、国語科だけでなく全ての教科の学力向上に不可欠です。
- お子さんとの会話を楽しんでください。聞くときは最後まできちんと聞き、話すときは語尾まではっきりと話します。共感したり、根拠を尋ねたり、お互いの考えを交流してください。
- 親子読書などに取り組みながら、家庭でも読書を推奨してください。語彙力を高め知識の幅を広げることができます。

2 算数

(1) 結果



ほぼ全国平均と同等の結果でした。「数と計算」「図形」「数量関係」の領域で全国平均を上回っています。しかし、活用力を問う記述式の問題では、全国平均を下回っているものもありました。問題形式ごとの正答率を見てみると、選択肢から選ぶ問題が77.8%に対して、理由や方法を記述する問題は44.9%で、考えを筋道立てた論理的な記述ができていない傾向が見られました。

無解答率に関しては全国平均をかなり下回っており、根気強く問題に取り組む姿勢が見られました。

(2) 成果と課題

「問題を理解し立式すること」「計算力」「グラフから、資料の特徴や傾向を読み取る力」が本校の強みとして現れました。しかし、立式された計算問題はよくできますが、式の意味を問われた問題では、正答率が大きく下がっていました。

記述式の解答にも課題が見られました。複数の資料の特徴や傾向を関連付けて理由を記述したり、示された資料をもとに、それを適用して説明したりする問題の正答率が低かったです。説明内容が不足していたり、条件を満たしての解答ができなかったりする傾向が顕著に見られました。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 「計算ドリル2回、学期末の検定問題」の取り組みで、基礎基本の力をつけています。
- 式から答えを出す一方だけではなく、式の意味を考えさせたり、式に合う問題を作らせたりしながら、式、絵や図、数直線など関連させた取り組みを行います。
- 授業の中で、「めあて」と「まとめ」を明確にし、学習のねらいを確実に意識させます。自力解決、学び合う活動、まとめ、振り返りと一連の流れを仕組み、友達の見解を吟味させたり、根拠を説明したりする言語活動を多く取り入れ、みんなで理解を深める学習を実践します。
- TT少人数指導、ノートチェック、プリント、ドリル、家庭での課題など、日々の指導の中で個々のつまづきを早期に見つけ、補充指導に努めます。

【ご家庭では】

- お子さんの学習について、理解の度合いなどの把握に努めてください。宿題プリントや計算ドリルをしている様子を見ていただき、励ますなどの声かけを行うことで、お子さんの意欲と自信を高めてください。
- 算数の学習を生活の中で生かすような体験をさせてください。買い物の時に、単位に目を向けたら、割引額などを一緒に計算したり、材料は身近にたくさんあります。ぜひお試しくささい。

3 生活習慣や学習習慣に関する調査

(1) 結果

《生活習慣・挑戦心・規範意識・地域行事への参加について》

調査項目	本校 %	全国平均%	県平均%
朝食を毎日食べていますか。	85.1	86.7	86.3
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	41.9	38.9	39.3
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	67.6	58.7	60.4
家の人（兄弟姉妹を除く）と学校の出来事について話をしますか	58.1	50.1	46.2
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。	45.9	30.1	32.9
学校のきまりを守っていますか。	63.5	46.7	52.7
人が困っているときは、進んで助けていますか。	66.2	40.4	43.3
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	91.9	85.0	86.0
今住んでいる地域の行事に参加していますか	74.3	68.0	77.4

朝食・起床・就寝については全国平均を上回っているが、「早寝・早起き」の生活リズムができていないといえます。また個人差が大きく、本校の6年生には遅刻や体調不良の児童も見受けられます。これは家庭の協力なしにはできないことであり、今後も保護者の皆様のご協力をお願いします。

挑戦心や規範意識、行事への参加については肯定的な回答が、全国平均よりもかなり上回っていました。

《家庭学習の様子》

調査の項目	本校%	全国平均 %	県平均%
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	37.8	33.1	33.9
学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。 「3時間以上」	6.8	12.4	7.7
「2時間以上、3時間より少ない」	23.0	16.9	16.2
「1時間以上、2時間より少ない」	58.1	36.8	40.5
「30分以上、1時間より少ない」	10.8	24.1	26.5
「30分より少ない」	1.4	7.6	7.2
「全くしない」	0.0	2.3	2.0

家庭学習については2時間以上が3割、1時間から2時間程度が6割近くありました。全国平均よりも良い結果ですが、まだ1時間未満の児童が1割以上おり、かなり個人差が見られます。家庭学習の手引きをもとに家庭学習の重要性を保護者や児童に伝えて家庭学習が習慣化するように指導をしていきます。

(2) 改善に向けての取り組み

【学校では】

- 毎日、「音読」「漢字の書き取り」「プリントやドリル」を基本に宿題を出します。自学についても中学年から取り組み、手本になる自学ノートを掲示したり、紹介したりしています。また毎月第2週の「北っ子ががんばろう週間」の啓発も引き続き行っていきます。
- 年間の本の貸し出し冊数120冊を目標に、読書の推奨を行っています。ポイントカードの配布や図書館からのおすすめの本「ブックチャレンジ」など、楽しんで読書できる取り組みもしています。すでに、目標を達成した児童もおり、今後も読書の機会を増やすための取り組みを行っていきます。

【ご家庭では】

- 家庭学習の時間や内容を示した「家庭学習の手引き」を今一度ご確認ください、家庭学習の充実を図っていただきたいと思っております。お子さんが、自分なりに目標を達成できた時は、褒めることで意識が更に高まると思っております。
- 「早寝・早起き・朝ごはん」の規則的な生活習慣のリズムの確立やテレビやゲームの時間を決めるなどの家庭でのルールづくりにもご協力ください。